

まちづくり懇談会記録

| | |
|------|------------------------------|
| 開催日時 | 令和2年2月11日(金) 午後2時00分～午後3時15分 |
| 場 所 | 常磐多目的研修センター |
| 出席者等 | ○市民参加者：男性 5名 女性 5名 合計10名 |

会 議 の 概 要

1 開会 【総務部長 司会進行】

2 市長あいさつ

○荻原市長あいさつ

皆さんこんにちは。お忙しい中、こうして出席いただきましてありがとうございます。また、日頃から市政やまちづくりに関しまして大変温かいご支援・ご協力をいただいていることを厚くお礼を申し上げます。

さて、大変懸念がされ、蔓延しております新型コロナウイルスであります。ご案内のように5万人を超え6万人に近い、世界的に感染が拡大している状況となっております。昨日において、いよいよ国内においても初めて1名の方がお亡くなりになるということが発信をされ、懸念をしているわけですが、過度な心配は不要だと思いますが、しっかりと予防に向けて、うがい、手洗いだとか、人ごみにおいてはマスクの着用など、こんなことが必要であると思っております。

また、例年にない、積雪が非常に少ない状態が続いており、営農等大変心配をいたしております。今後の対応等につきましては、皆様方ともしっかりと連携を取らせていただいで、関係機関とも連携を取らせていただいで、必要な対策につきましてはしっかりとっていかなくてはならないと思っております。

また、不通となっております芦別富良野間のJR根室線ではありますが、野花南にある架道橋が損傷をし、不通となっておりますが、補修が思ったより早く済んだということで、5日から通常通り運転が再開され、安堵感があるところでございます。

もう一つご報告申し上げます、道新に掲載されておりましたけれど、芦別市に11年連続で合宿をしていただいております、女子バレーのJTマーベラスであります。Vリーグにおいて9年ぶり2度目の優勝をされました。このことにつきましては、大変うれしく思っております。今年も夏には合宿に来られる予定でありますので、皆さんとともに優勝凱旋を迎えたいと思っております。

さて、今ほど司会のほうからご案内させていただきましたが、今回のまちづくり懇談会は、大きく2つのテーマを持たせていただいで、皆様からのご意見を賜りたいと思っております。詳細については、担当課長から後ほどご説明申し上げますけれど、概要を申し上げますと、一つには庁舎の関係があります。市役所庁舎も昭和44年に建設いたしました。ちょうど50年が経過し、老朽化も進んでおり、加えて耐震性が劣っております。耐震整備がなされていない関係から、震度6強になりますと、崩壊の恐れがあると思っております。

芦別は地震が少ない土地柄ではありますが、一昨年におきましては、胆振東部地震により震度4を経験いたしました。このことは将来においても、まったく無いという保証は無いという中におきましては、しっかりと市民の皆さんの安全・安心といえますか、行政機能の保全をする防災拠点をしっかりと確保するということが、私たち行政に求められ

ている事だと思っております。

従いまして、国におきましても、一定の期間助成制度を設けようということが、形として示されておりますので、更には市の財政をしっかりと見極めなければならないですけど、将来に向けてはやはり建替えということについて、真剣に考えていかななくてはならないし、それに向けて是非、検討を深めてまいりたい、そのように思っております。

それから、病院の関係でございます。人口の減少、更には常勤医師が十分に充足が出来ていない。非常に経営が厳しい環境におかれているのは事実でございます。そういったことを踏まえ、昨年来から一年間かけまして、有識者会議でありますけれど、将来の芦別の病院の在り方について検討をしていただきました。検討の結果が先般1月25日に答申として示されました。

この内容についても、後ほどお伝えさせていただきますけれど、そういった内容、加えて昨年9月であります。国の厚生労働省から、全国で424の病院、道内においては54の病院が再編統合の対象にするということということで、芦別市も市立病院がこの対象になったところでございます。これは、診療の科目、或は診療対応が非常に少ないという、一つの診療科目をターゲットにされる、或は、様々な角度からそういう画一的な視点で評価がされるという形になっております。

開業医の先生も先般お亡くなりになり、残念なことがございまして、公立病院として市民の皆様方の安全・安心、健康、命をしっかりと守っていくことからしますと、公立病院である市立病院をしっかりと維持していかなくてはならない、基本的にはそのように考えております。これとて、全部が全部用意できる状況ではございませんので、出来る医療資源をもって、最大限皆様方に医療提供できるような、そういったことをこれからも維持をしていかなくてはならない、そういった思いをしているところです。

いろんな角度から是非、皆様からの意見を賜りながら、また、そのためにも市立病院を皆様方にしっかりと支えていただくことも必要になると思っておりますので、そういったことも含めて、是非、皆様方からのご意見を賜りながら、有意義な懇談の場でありますようにご協力をお願い申し上げまして、開会のあいさつとさせていただきます。

今日はどうぞよろしく願いいたします。

3 説明事項【担当者より説明】(資料添付省略)

- (1) 芦別市総合庁舎建設基本構想(素案)について
- (2) 市立芦別病院のあり方検討委員会の答申について
- (3) その他
 - ・北森カレッジの本市での実習について
 - ・新型コロナウイルスの対策等について

4 意見交換

○市民

市役所で会議などがあり老朽化ということは分かりますが、コンパクトと書いていますが、職員の人数や面積等々を見ると、20年後には芦別の人口も6千数百名を保ちましようということがあったのですが、もっとコンパクトでもいいのではと。私たちが若い頃には3万、4万という人数がいて、私たちが30歳前後かな、役所でパソコン入れるから、早期退職だというのが一時ありましたよね、今から20数年前にはね。そういうのを入れて、とりあえず働き方改革等々色々難しい面もあると思っておりますが、職員数の減少等々も入れまして、もう少しコンパクトな物に出来ないのかなと思っております。

図面を見ると、福祉センターの横となっています。あそこの前の道路って、以前は市

道、次に国道になって、今は道道になっていますが、あそこはとてもじゃないけど、冬場の歩道の意味がないということで、道の予算が少なく、市のようにきめ細やかな排雪を行う事が無理なんですよね。交通安全協会等からも出ていると思うのですが、あそこの歩道をまず歩けるようにする整備、道道をまたぐとなると、駐車場から来ると、お年寄りの方だと、昨日の夜も結構滑るような状況なので、怪我されると困るので、駐車場の在り方も、もう少し考えたほうがいいのかと思います。砂も直線は撒けませんので、その辺何かうまい施策は無いのかと思っております。

あと、市立病院のほうですが、報道等で色々出ているのですが、管理業者が病院を見直すということですが、普通の企業であれば、トップである院長の責任ということがあるんですけど、院長の責任というのを芦別市では考えているのかどうか。なにか対策があるのか。例えば業者を置く事によって、院長制度を無くすとか、そういうことを考えて管理業者を入れていくのか、院長は院長としていて、運営にはタッチしなくなっていくのか。

資料を見ると、4階は3階、5階は4階となっているんですけど、いろんなケアの仕方が変わってくると思うんですけど、4階にお風呂場がないから、また新設で作ったりだとか、3階に必要な手術室をどうするのかとか。あと、看護師の待遇もいろいろと問題もあるんだと思うし、特に内科あたりに行くと、必要のない看護師がずっとあそこの中にいて、私も2か月に1回受診しているんですけど、なんでこんなにここに看護師だけいるのか、処置室なんか行ったら採血とかでわかるんですけど、特に内科の場合は患者さんが一番多いじゃないですか。そこで、年配の方々は、こんなに看護師だとかは必要なのかと話をしているので、そういう人材の活用方法も考えていただければと思っています。

ここに林業学校の分校が出来るとは、当時の末永会長と市道から道道に出るところで、以前、経済建設部長に話をし、カーブのところにミラーを付けてもらったんですけど、道路の構造自体がとても危ないんですよ。ちょうど押しボタンのところからガクンと下がってるので、大型車だったら見えるんですけど、普通車だったらとても見えづらいんですよ。なんぼかカーブミラーがついてよくなったんですけど、今年はどうでもないが、例年富良野に行く観光バスだとか、この頃だったら自衛隊とかも通っているの、以前から見たら2倍3倍の交通量なので。この道路の改良工事は終わっているというかもしれませんが、もう少し見通し良い、例えば、バックネットのあの辺をずらすとか、芦別方面から赤平方面に行く車が見えづらい傾向があるんですよ。私も実際何度もヒヤリハットしたことがありますので、そういう対策等もお願いしたいと思っています。

●危機対策課長

庁舎のコンパクトという部分なんですけど、今市が考えている4700㎡から5000㎡という話をさせていただいたんですけど、この中に、今現在ないエレベータだとか多目的トイレだとかに、かなりスペースが取られると思っています。基本構想という形で、この案を出しているんですけど、この後作る基本計画だとかで、もう少し削れるところが無いかだとかを検討していきたいと思っていますので、ご理解いただければと思います。

●病院事務課長

まず一つ、中間業者といういい方でしたが、僕の説明が悪かったのか、事業管理者という人を置くということですね。事業管理者というのは道内で11の市で置いておまして、院長先生がそれを兼ねているところもありますし、院長先生の上に事業管理者を置いているところもあります。この事業管理者については、医者でもいいですし、普通

に事務でもいいんですけど、医療と経営に精通した両方兼ねられる人を事業管理者として置く。今の一部適用という状態だと、市長が開設者、管理者という形の中で、医療の関係、病院の管理をしているのは院長となるんですけど、今度は全部が適用になると、市長に今度は権限があるのではなくて、事業管理者、これは先ほども言った院長でもいいですし、とにかく医療と経営に精通した方を置くということになりますので、うちの病院ですとおそらく、事業管理者として別に経営に精通した医者を置くということが考えられるのかなと思っています。

今回3階に病棟を移すといったときに、3階にも4階にも一般的なお風呂があるんですけど、介護用の浴槽については5階にしかないの、あればいいということですので、お風呂だけは5階に行ってもら。水回りをやるとすると、かなりのお金が掛かりますので、そういう形で流用できるものは流用したいなと考えております。ただ療養病棟が4階に降りるとなれば、食堂といいますか、人が集まって談話できるお部屋を作らなくてはならないので、病室の一番大きいところをそういった形で、5階と同じようにそういった形を作らなくてはならないのかなと考えていますけど、使えるものは使って、コストをかけないようにやっていきたいなと思っています。

手術室の関係も今お話があったんですけど、病院として手術室を置かなければならないという施設基準がありますので、使う使わないは別としてそれは残さなくてはならない。少ないですが月に1回か2回ぐらいは使って、泌尿器科の先生がいますので、先生が一人でできる手術というのは今やっております。外科の先生も整形の先生も今いらっしやらないので、全身麻酔でやるような手術は今使っていないんですが、実際にはある程度使う予定としています。

また、内科外来のお話がありましたが、確かにあそこにはスタッフが多い。看護師もいますし、助手さんみたいな方もいますし、今、電子カルテが入ったことにより、医者が入力したことについて、看護師さんもあそこで入力しなければならない。前は、先生が書いたカルテだけがカルテだったんですけど、看護師さんのほうでも看護記録を打ち込まなくてはならないということで、ある程度人が必要となって、外来のある日と無い日で、処置室にいる人間というのは、人数が少し変わったりするんですが、やはり患者さんが少ない日というのは、どうしてもスタッフが多くいるような、目立つような感じにはなっているんですが、先ほども24時間の訪問看護ということが提案としてあったんですけど、そこを開くとなればそこにスタッフを補充しなければならないので、スタッフがそこに必要であれば、内科だったり病棟だったりから回すような形で考えてはいます。

●農林課主幹

北森カレッジの関係で、常磐小学校を実習室として活用するという事で、旭川の本校から学生がこちらに来るときは、学校が用意するマイクロバス等に来て実習を行う事になると思います。その際のあそこの道路の出入りの部分ですけど、今ご意見いただきまして、見づらいということと、危険性があるという部分につきましては、道路管理している部署のほうに、こういった意見がありましたということをお伝えさせていただきたいと思います。

○市民

おそらく道路のほうは手を付けないと思います。

前は市も道もあそこに雪をこんもり上げたんですけど、あそこに雪を置くなと言って今の状態になったんですけど、雪が多くなると歩道もはねられない状態になるんですよ。あまり元学校の柵のほうに入れると、ご承知の通り常磐の80年記念塔があり、錆びたりいろんな弊害があり、オンコとかあるので、学校がある時には校長先生を通して、教

育委員会に許可をもらってということが、過去にはあったんですけど、それまでは業者のほうで入れてたので、それはまずいということで、そういう話をして、手順を踏んでやった経緯もあるんですけど、本当にあそこは危ないです。

例えば、使わないのであればバックネットがなくなるとか、木の剪定をするだとか。町内のほうも色々ご苦勞をされて、あそこまでやってもらったんですけど、なかなか道路になると無理だと思うんですよね。建設のほうとも相談しながらよろしく願いいたします。

○市民

前から心配していたことが、今日、あったんですけど、というのは、医師が血圧だとか体温とかを図るのはナンセンスだと、その前に看護師さんがやるべきだと。去年の市議会だよりにある議員の質問の中に、答弁は、医師によってそういうことを嫌う先生がいると。そのことをもう一度協議してするということを書いていたんですが、その関連したことなんですけど、今日、11時の予約だったんですが、11時になって採血しませんかと言ってきたんですけど、今日採血の予約何もなかったよと、採血する日は早く行くんですよ。予約したときに結果が分かりますから。採血行きますかと言われたので、これから行ったら11時過ぎますよねと話した。今日、10時から来ていて、今更採血に行ったらと話したら、すみませんと。そこで以前考えたのが、血圧だとか体温だとかをやっているら、そういう問題は起きなかったんですよ。整形行ったことがあるが、看護師さんがどうですかと聞きに来る。内科の看護師さんは一切無いですよね。それが11時で、診察終わったのが12時半なんです。それは混んでいたのでもいいんですけど、もう一人の人は、糖尿病の人だったんですよ。血糖値の記録持ってきたのかと聞かれたが、患者さんは、看護師さんが言ったことを考え違いしていて、無いと言っていたが、この手帳は持ってきていないかと思えられたら、その手帳は持ってきていると。患者さんの診察が終わった後にですよ、看護師さんは診察始める前にカードと一緒に出してくださいますと。診察する前に出してもらうならわかるけれど、出してもらえばいい事ですよ。そのカード見れば、先生分かることなんだからね。終わってからですよ、尿とってください、採血とってください、待っている間、採血とか尿とる時間あるですよ。そういうことを先にやっていたら、患者さん早く帰れますよね。

去年の3月上旬に、市立病院に何ヶ月かぶりに行ったんですよ。2ヶ月か3ヶ月ぶりに。その時に4月から石川先生来ますので、内科外来のローテーション変わるということが、元のテレビの横に貼ってありましたよね、3月の初めに。4月の末になったら医療体制のことが出ると思ったんですよ。広報に4月も出ない、5月も出ないので、電話しましたよ。なぜ広報に載せないのか。そうしたら市立病院の担当者は必要ですかと。私頭にきて、必要だから聞いているんだと。その人が言うには、病院来る時があるので、それで分かるでしょと。私みたいに3ヶ月に1回くらいしか行かない人は分かりませんよ。最後、その人は自分の担当外といました。担当外なら担当の人出してくれとあったんですけど、そうしたらなかなか出してくれないので、あんた聞いているのかいと聞いたら、聞いていると。だけれど、出すとも出さないとも言わない。それで電話切りましたけれど、自分としたら新しい先生、石川先生来ましたよね。最低でも先生の給料ぐらい出せるような診療指導してほしいわけなんです。儲けは後ですよ、最低でも。なんで先生のローテーション変わったことを載せないのか。極論言えば、3月に先生学会で出張だとか、休診すること貼ってもらっていますよ。それも私が前、休診するんだしたら貼ってくれと言ったんですよ。その時の答弁は、来るんだしたら電話をかけてから来てくださいますと。そんなもんですか。ただ、市の広報に載せればいいんですよ、休診ということ。市立病院でありながらそういう事なんですか。

●病院事務課長

いろいろと、ご面倒ご迷惑をおかけしまして申し訳ございません。内科外来についての部分ですけれど、状況が分からない部分があるんですけど、全てがそうなっているかどうかということは、分からないんですけど、流れなんですけど、おっしゃるとおり、来て検査が必要だったらやって、血の検査でしたら1時間位近く結果が出るまで時間がかかってしまいますので、その辺の流れというのを、ちゃんとマニュアルというかそういう形で徹底しなければ、やはり迷惑かけるのかなと思いますので、看護師のほうにも、その辺の流れをちゃんとするというのを徹底したいなと思います。おそらく人によって、もしかしたらやり方が違っているのか、そういったことも考えられますので、その辺を含めてもう一度徹底させていただきたいと思います。

それから、二つ目にあった池田先生だと思うんですけど、池田先生が来られて広報に載せなかったというときがあったんですけど、大変申し訳ございません、池田先生が来ると決まったのが遅かったものですから、4月のタイミングは間に合わなかったとは思いますが。

○市民

3月の初め頃に載っていたんですよ。ローテーション。

●病院事務課長

3月の初めでしたか。4月の広報に載せられるタイミングだったのに失念していたということだと思うんですけど、これから先も医者が変わることがあれば早めにお知らせできるように、広報についてはやっていきたいと思います。

最後に、おっしゃられた出張の先生でいなくなるということについて、これも広報にということだったんですけど、タイミングとしてすぐ出るかどうかということがあって、いつもその話になるんですけど、全て載せられるかどうかということもあるので、その辺は検討させていただきたいと思います。ホームページに載せるというのは、リアルタイムにできるんですけど、全ての人がパソコンを持っているわけではないので、その辺の時間的問題、広報というのは10日が締め切りなものですから、そのタイミングに合うかどうかということですね。ただ、おっしゃられたとおり、来ていればわかるとか、そういった言い方はいけない話だと思いますので、その辺は私の方から事務のほうに対して指導をしたいなと思っております。大変申し訳ありませんでした。

○市民

それとさっき言いました、看護師さんが事前に血圧だとか測ることについては、医師によって好まない医師がいると。そのことについて対応すると議会で答弁しているんですけど、そのことはどうなんですか。

●病院事務課長

その記憶がないですね。答弁している記憶が。ただ、たぶん先生によって自分で測る、診察の中で測る先生もいらっしゃいますし、大きい病院に行くと自分で測れるように機械が置いてあるんですけど、今ある機械がちょっと古くなってきて、もしかするとそういう事が、確か紙が出ないんですよ。その辺があるんで、全てが自分でできるわけでもないし、それなので多分看護師さんが測るっていうのがうちの病院の流れの中で、先生によってはそれを好まないという人がいるのか、その辺を確認してみたいとは思いますが、その答弁が・・・持ち帰ってその辺の流れを、はっきりさせたいと思います。

○市民

さっき言ったけど、整形に行ったらどうですかと聞くんですよ。内科では血圧を測ったこともない、体温を計ったこともない、状況を聞く事もない。先生に話すのかい。そこで先生に話をしていたら時間かかりますよ。滝川の脳外に行っているんですけど、そこ

に行ったらすぐに血圧ですよ、そこで変わらないか聞いて、質問あったら看護師さん書くんですね。書いたものと一緒に先生のところに行くんですよ。そこですぐ話になるのでね。血圧とか図って話をするのに、1人2分としたら10人いたら20分ですよ。1人の先生の患者を診る率が上がりますよ。得能先生ですけど、自分12時過ぎに出たんですけど、その時に石川先生の診察時間が9時半になったつきり、院長先生は11時半、石川先生が9時半というのは、まだ患者さんがいるのかと思いましたよ。札を変えていないのか。もう少し事前に看護師さんとコミュニケーションをとってれば、さっき私が言ったように、患者さんが待っているときにやれることなんですよ。

もう一つ、レントゲンなんですけど、患者さん新しい方だと思うんですけど、看護師さんに、レントゲン撮って来てください、検査室行ってくださいなど3つほど言われたんですよ。その人が悩んでいると、看護師さんは指さすだけなんです。そうしたら看護師さんがレントゲン室にカードもって連れて行くんですよ。滝川の脳外のレントゲンでは患者さんがカード持っていくんですよ。芦別の場合はカードを、レントゲン室の受付のところに持っていくんですよ。あんなこと、看護師さんが余っているんだったらいろいろあると思うが、看護師さんが検査室持っていけばいいでしょ。あそこのレントゲン室の受付の人いらなくなるでしょ。

●病院事務課長

今お話し合ったことについては、ちょっと流れをもう一度確認させていただいて、患者さんの皆さんに迷惑のかからないような流れにしていきたいと思います。

○市民

今どこのスーパーに行ってもマスクがありませんよね。これから花粉症、これはまた大変な病気なんですけど、市で購入の指導のようなことをしてもらわないと、欲しい人にあたらない。

●総務部長

薬局、スーパーからマスクがなくなってきたということですけど、おそらくこれから感染が拡大していった時にマスクがないと困るということで、買い占めしているんだと思います。これについては、市として買い物される分をどこまで制限をするということは厳しいと思いますので、出来るだけ人の事も考えてというような柔らかい言い方しかできないと思いますけど、広報でありますとかホームページでありますとかで啓発させていただきたいなと思います。

○市民

今月の広報に入ってくるのかと期待していたんですけど、なんか危機感が足りないような気がする。

●副市長

新型コロナウイルスの関係につきましては、ホームページにこういうことで注意してくださいということに止まっているんです。この問題については広報に出したいんですけど、今まさに国が最前線で、水際作戦をやっている最中なんです。具体的な対応だとか、そういう事が自分たちのところにはまだおりてきていないんですよ。それで自分たちで今できることは、インフルエンザ、他の風邪と同じように、まずは身近で自分たちが出来ることからやっていきましょと、促しているだけなんです。国のほうでもマスクの不足の対応で、業界のほうに24時間作って、とにかく来週には1億枚国内に流通させるんだという意識でやってますし、逆に、全国に本格的に感染が拡大したときには、災害のように対応しなさいというようにお達しが来ると思います。そうなると、芦別市が色々な業界の方たち、店舗と防災の協定を結んでいるんですよ。連携協定というのを結んでいますので、芦別市民の皆様方たちがある程度マスクを確保でき

るような、そういうお願いを具体的にできますし、速やかに行動しようと思っています。私どもも、市役所の中に新型インフルエンザ等の対策本部を、市長を先頭に設けることになっております。この時には、行政関係者、医師会を含めた各関係団体と、しっかり連携をするとともに、北海道、警察その他いろんな関係機関と連携してやることになっておりますので、そういう不測の事態が生じた時には、しっかり対応しますから。ただ、現時点においては、テレビでご覧のとおり、国のほうでもどうしたらよいかまだ分からない状態になっているんですよ。万全を期していくということを、今日は言わせていただいて、広報等でしっかり説明をさせていただきたいなと思っています。加えて、今月の27日なんですけど、芦別市医療協議会、医師会だとか歯科医会、薬剤師会、市、消防、教育委員会等が入って、市長を会長としたトップが集まる会議がありますので、その時に、この新型コロナウイルスの情報も、意見交換したいと考えていますので、その間の情報についても、広報を通じてお知らせしたいと考えております。

●荻原市長あいさつ

最後まで熱心にお聴き取りいただき、ありがとうございます。いくつかご質問や貴重なご提言などをいただいたと思っています。

一つは病院の関係についてはご懸念のとおり、そういう事にならないような形にしっかりとスタッフ確保について。

また、将来の人口減による減収なり、或は職員数の減少なり、それに見合うような将来展望に立ったうえでの庁舎の建設に向けた対応を図っていく必要があると思っています。担当課長から申し上げますけれど、そういった意味では華美にならない、簡素で機能面でしっかりとしたものにしていくといったこと、そういったことからしますと、福祉センターとドッキングというものとしています。福祉センターにある部屋の活用など、新庁舎に作らないものはそちらで代用できますから、全体的な一体の中で、そういう活用を訴えられれば、良いものが建てられると思っていますので、そうすることによって、後年に向かっての負担を一定程度、ある程度軽減されますので、そういったことも含めて、総合的に勘案しながら取り組んでいかななくてはならないと思っている次第でございます。

病院の経営形態等についてもお話をいただいているんですけど、基本的にはこの答申の考え方に沿い合わせながら、そういう方向の方針を持っていくような予定でありますけれど、基本的には市長の権限であります予算、更には人事面、これを病院管理者の方へ移行するという、ある面では自主自立的な立ちで病院経営を促しているというような、こういうことになろうかと思えます。いずれにしても大変厳しい環境の中にあるうえにおいて、市民の皆様にともしっかりとした医療提供ができるよう、こういう体制に持っていき、そういう意味ではやはり、人というのは重要であります。看護師さんを含めてご批判ご指摘をいただきました。当然このことは、ご迷惑をおかけしたと思っていますし、その辺は、しっかりとコミュニケーションをというお話をいただきました。そういった機能がアップできるように、改めて我々も思慮に受け止めさせていただいて、改善に向けて努力していきたい、そんなふうになっている次第でございます。

とにかく、市民の皆さんの支持を無くして市立病院はありません。市民の病院であるということを、我々もしっかり受け止めながら、やはり市民の皆様方にも、そういう感覚を持っていただけるということを、このことがやはり将来に向けて、病院を残す前提だと思っていますので、そういう立場で病院の対応等については、図ってまいりたいと思っている次第でございます。

林業大学校の件は、常磐町内会の皆様におかれましては、この誘致活動につきまして、私も再三伺うたびに申しあげておりますけど、本当にお世話になりました。いよいよ

よ、この4月から開校するわけでありまして、分校的立ち位置を担うわけでありまして。育成をしていこうという人材づくりに、芦別市も大きく関わっていくということについては、非常に誇りに思っていますので、是非、今後におきましても、地元の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げる次第でございますし、あえて環境的な部分で、交通に関する危険性のご指摘も頂きましたので、道道である、札幌建設管理部としっかりタイアップしながら、市役所の都市建設課とすり合わせながら、危険であるということ、承知しながら放置するということは、行政の不作为でありますから、しっかりと相手側に伝えながら、改善が図られるのであれば、やっていきたいなということを申し上げさせていただきます。

また、ご心配いただきましたとおり、新型肺炎の関係につきましては、場合によっては、芦別市がマスクを用意するという、こういったことなども、考えを持つような状況も生まれるというようなこともありますので、しっかりと危機感をもって対応しなければならないと思っておりますので、しっかりと関係機関、関係部署と協議をさせていただきながら、市民の皆さんの安全安心につなげるような、見える形でのご支援を図ってまいりたいと思っております。

結びになります、この4月から、芦別市がいよいよまちづくりの10か年の長期計画であります、第6次の総合計画がスタートいたします。将来像を持ちまして、皆さんが良く市民憲章を唱和いただく機会があると思うんですけれど、これに準じまして「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」こういう風にして、将来像を掲げております。その初年度となりますのは、令和2年度となりますので、予算編成に向けて、今大詰めでございます。来週の金曜日には記者発表が出来ると思っておりますから、この総合計画の第1年次ということでは、こういったまちづくりに一歩でも前進できるようにということと合わせて、市民の皆さん方にご納得していただけるような、そんな予算編成に向けてまいりたいなということを、申し添えさせていただきますと思っております。

いずれにいたしましても、これからのまちづくりというのは、当然行政だけで進めていくことは困難であります。市民の皆様と一緒に考えて、共に力を合わせながら、この芦別、地域を前に進めていきたいと、そんな思いでありますので、引き続きご支援とご協力を合わせてお願い申し上げます。

数日、暖かい日が続いております。でも、また日曜日あたりからぐんと低温になるということでございます。この気温の高低差がある中ではありますけれど、是非、体調管理には十分ご留意いただきまして、ご健勝でお過ごしされますようご祈念申し上げます。閉会のお礼のあいさつとさせていただきます。

今日はありがとうございました。

5 閉会

以 上